

2026（令和8）年度

大学院医学系研究科
（修士課程）

保健学専攻

学生募集要項

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は、本学サイトを必ず確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し、志願者への緊急の連絡が必要となった場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/prospective/admission/health-first/admission.html>

信州大学

信州大学大学院入学者受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

信州大学大学院医学系研究科（修士課程）保健学専攻 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育・研究の理念】

医学系研究科（修士課程）保健学専攻は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念とします。

精神的・身体的・社会的な側面から人間を全人的な存在としてとらえ、保健・医療・福祉に関する教育・研究の成果を社会に還元することにより、健康保持と疾病や障害の予防・治療、医療安全に広く貢献し、人類の幸福と福祉の向上に寄与する保健学を構築します。

【教育・研究上の目標】

1. 高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を備えた人材を育成します。
2. 保健・医療・福祉の現場において研究を推進できる人材を育成します。
3. 国際的な共同研究や活動に参画できる人材を育成します。
4. 保健・医療・福祉の実践現場で働く有職者の研究活動を活性化します。

【入学者受入方針】

医学系研究科（修士課程）保健学専攻では、以下のような学生を求めます。

1. 高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意のある人
2. 科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野で物事を考えることができる人
3. 高度専門職業人として、地域社会の保健・医療・福祉に貢献する意欲のある人
4. 保健・医療・福祉の領域において、指導的役割を担う意欲のある人
5. 将来、保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

上記の素養を持つ学生を選抜するために、高度な専門知識を国際的視野で情報収集するのに必要な基礎学力を民間の英語能力測定試験の成績により評価し、入学の目的や将来の志望に向けた熱意(態度)及び科学的思考と論理的な表現力を口述（面接）試験により評価します。

1. 専攻・分野・領域及び募集人員

専攻	分野・領域		学域	学位	募集人員
保健学	看護学	基礎看護学	基礎看護学	修士 (看護学)	20人
		成人・老年看護学	成人看護学 老年看護学		
		母子看護学	小児保健・看護学 リプロダクティブ・ヘルス看護学		
		地域・国際・精神看護学	地域・国際看護学 精神看護学		
	検査技術科学	病因・病態検査学	病態血液検査学 生体分子情報検査学 感染生体防御検査学 組織細胞病態検査学 神経呼吸免疫科学	修士 (保健学)	
		理学療法学	先端理学療法学 実践理学療法学		
理学療 ・法 作学 業	作業療法学	生活支援作業療法学 精神作業療法学			

2. 出願資格

医学系研究科（修士課程）保健学専攻には、次のいずれかに該当する方が出願できます。

- (1) 大学（修業年限4年以上）を卒業した方又は令和8年3月までに卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は令和8年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は令和8年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は令和8年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和8年3月までに修了見込みの方
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和8年3月までに修了見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、令和8年3月31日までに22歳に達するもの
- (10) 大学に3年以上在学した方又は令和8年3月までに大学に3年以上在学する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した方又は令和8年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した方又は令和8年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の

課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和8年3月までに修了する見込みの方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

3. 入学資格審査

『2. 出願資格(8)～(13)』により出願しようとする方は、事前に信州大学医学部大学院係へ問い合わせのうえ、次の手続を行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

※すべて戸籍氏名を記載してください。

外国人は、パスポートに記載されている氏名を記載してください。

(1) 入学資格審査申請書類受付(持参もしくは郵送)

受付期間 令和7年6月9日(月)～13日(金)
(郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時～17時

提出先 信州大学大学院医学系研究科入試事務室(医学部大学院係)
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(2) 申請書類(※印は本研究科所定の用紙)

【様式のダウンロード】

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/prospective/admission/health-first/admission.html>

①出願資格(9)に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式7)	必要事項を記入してください。
最終学歴に関する 証明書	卒業(修了)証明書及び成績証明書 (短期大学の専攻科又は高等専門学校を卒業(修了)した方は、短期大学又は高等専門学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書を併せて提出してください。)
最終学歴の学校に関する資料	入学資格、卒業(修了)要件、修業年限が記載されている資料
学修に関する資料	履修要覧、科目等履修生等の成績証明書
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

②出願資格(8)、(10)～(13)に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式7)	必要事項を記入してください。
在学証明書又は在学期間証明書	出身学部(大学院)の長が証明したもの
成績証明書	出身学部(大学院)の長が証明し、厳封されたもの
推薦書	学科主任、指導教授等が作成したもの(様式任意)
学修に関する資料	履修要覧等
研究業績に関する資料	著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。

(3) 資格審査

入学資格審査は、提出された申請書類により職歴、研究歴、研究業績等を総合的に勘案して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は、令和7年6月27日（金）に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は、出願手続きを行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願期間

本学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。

令和7年7月15日（火）～25日（金）

・持参の場合

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

・郵送の場合

簡易書留郵便とし、出願期間内に必着とする。

※インターネット出願登録サイトへの登録及び入学検定料等の支払いは7月8日（火）から可能です。

(2) 出願方法

※インターネット出願の詳細については、7ページからの「(6) インターネット出願の流れ」を参照してください。

Step1～5 出願内容の登録等（顔写真のアップロードを含む。）

この募集要項を熟読のうえ、出願する内容に間違いがないよう登録してください。

（特に、入試区分、志望専攻・分野等）

Step6 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

※その他システム利用料（900円）が必要となります。

支払期間 令和7年7月8日（火）～25日（金）

（注）支払方法の詳細については、インターネット出願登録サイト上で確認してください。（クレジットカード等のペーパーレス決済）

Step7 出願書類等の提出（持参もしくは郵送）

出願確認票をインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷し、必要書類（「(4) 出願書類等」を参照）とともに市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に入れ、その封筒に出願登録サイトの「申し込み一覧」から印刷した宛名ラベルを貼り付け、入試事務室に持参もしくは、簡易書留速達郵便で郵送してください。

※インターネット出願登録サイトへの登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に書類等を郵送することで完了します。

※ 「3 入学資格審査」で、個別の入学資格審査により「入学資格認定書」の交付を受けた方は、そのコピーを添付してください。

Step8 受験票の印刷

「受験番号確定メール」を受信後、インターネット出願登録サイトから印刷してください。（※郵送はしません。）

(3) 出願書類等提出先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

(4) 出願書類等

① インターネット出願登録サイトから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。内容に誤りがある場合は朱書きで訂正し提出してください。

※ すべて戸籍氏名を記載してください。

外国人は、パスポートに記載されている氏名を記載してください。

なお、通称名等の使用を希望する方は、入学後に届け出ることにより使用できます。

出願書類等	書類の説明
出願確認票	A4 サイズの用紙に印刷してください（白黒印刷可）。
宛名ラベル	印刷したものを市販の角形2号封筒（240 mm×332 mm）に貼り付け、出願書類を入れて郵送してください。

② 出願登録サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

出願書類等	書類の説明
写真	受験票用顔写真の画像ファイルをアップロードしてください。 ・ 志願者本人のみ（出願3か月以内に撮影した上半身、正面向き、無帽、無背景、枠なし）でカラー撮影したもの・ファイル形式はJPEG 又は PNG とし、高画質（100KB～5MB）で撮影したもの（写真サイズは縦横比4：3） 不鮮明なもの、背景が暗いもの、画像に加工を施しているもの等は使用できません。

③ 本専攻のホームページからダウンロード・印刷して準備する書類

【様式のダウンロード】

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/prospective/admission/health-first/admission.html>

出願書類等	書類の説明
履歴書（様式1）	高等学校卒業から現在に至る経歴（国家試験合格を含む。）を年次に従い、もれなく記入してください。
志望理由書（様式2）	本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
受験承諾書（様式3）	事前に志望する分野・領域の担当教員に連絡をとり、承諾を得て作成したもの
受験及び修学承諾書（様式4）	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属の長が作成したもの
外国人留学生申請書（様式5）	外国人志願者のみ提出してください。
面接試験方法選択票（様式6）	希望する面接試験の方法（会場での対面面接、もしくはオンライン面接）を選択してください。

④ 志願者自身が準備する書類

出願書類等	書類の説明
卒業（見込）証明書	出身大学等の学長、学部長が作成したもの（中途退学者は、退学証明書又は在学期間証明書を提出してください。本学医学部出身者は不要ですが、本学医療技術短期大学部出身者は提出してください。）
成績証明書	出身大学等の学長、学部長が作成し、厳封されたもの （本学医学部出身者は不要ですが、本学医療技術短期大学部出身者は提出してください。）
TOEFL iBT®または TOEIC®L&R のスコア	○TOEFL iBT®: Test Taker Score Report を提出してください。My Best Scores を採用します。PDFを印刷したもので出願を認めますが、後日原本を提出してください。 ○TOEIC®L&R: 紙の公式認定証を提出してください。デジタル公式認定証を印刷したもので出願を認めますが、後日紙の公式認定証を提出してください。 ○共通: 入学試験日から遡って4年以内のスコアに限ります。
住民票の写し 又は パスポートのコピー	外国人志願者のみ提出してください。 現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）1通を提出してください。それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。
日本語能力試験 又は 日本留学試験成績 通知書のコピー	外国の大学等を卒業（修了）した外国人志願者のみ提出してください。公益財団法人日本国際教育支援協会実施の日本語能力試験（N1）又は独立行政法人日本学生支援機構実施の日本留学試験（日本語）の成績通知書のコピーを提出してください。（原本は、受験当日持参のこと。）

(5) 出願に際しての注意事項

- ① 受理した出願書類等は返還しません。
- ② 入学検定料の返還請求は、次の場合のみ受け付けます。それ以外の場合は、いかなる理由があっても支払い済みの入学検定料は返還しません。返還には別途手続が必要です。手続き方法については、本学のホームページをご覧ください。（入試情報ポータル／入学検定料返還手続 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）
 - ・入学検定料を誤って二重に支払った場合
 - ・入学検定料を支払ったが出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ③ 提出された書類等に虚偽の記載があった場合には、入学許可を取り消します。
- ④ 書類等の提出後、受信場所（本人連絡先）を変更した場合は、直ちに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

(6) インターネット出願の流れ

インターネット出願の流れ

※ここで示す流れは標準的なイメージであり、選抜により異なります。実際の画面に従って入力等してください。

出願完了までの流れ[Step1~8]



Step 1 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。学生募集要項を本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んでうえで出願登録を行ってください。出願書類等※は、発行までに時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類等…選抜によって異なります。(調査書、顔写真画像ファイル、大学入学共通テスト受験票など) 詳細は学生募集要項を参照してください。

Step 2 インターネット出願登録サイトにアクセス

学部入試、編入学

大学院入試

大学ホームページからアクセス

https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/>

Step 3 新規登録・ログイン

画面の手順に従って、必要事項を入力して新規登録を行ってください。なお、新規登録が済んでいる場合は、ログインのうえStep 4へ進んでください。

① PC等の環境確認

② 注意事項の確認

③ ログイン画面から **新規登録** をクリック

④ アカウント新規登録用メールアドレス送信

⑤ 登録したメールアドレスに登録用URLが届きます。
※@kkg-net.co.jpのドメインからのメールを受信可能に設定してください。

⑥ パスワードを設定してください

登録したメールアドレスとパスワードを記録!

Step

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①入試区分等の選択
(検定料免除申請確認も含む)



②志望学部・学科等の選択



③個人情報の入力



④お支払い方法の確認



⑤入力内容の確認



⑥登録完了 (確認メールも送信される)
申し込み一覧 をクリック

Step

5

顔写真のアップロード

画面の手順や留意事項を必ず確認してアップロードしてください。



①申し込み一覧の画面(※)から
写真のアップロード をクリック



②画像を選択しアップロード



画像の加工禁止

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

6

入学検定料等の支払い 【注意】まだ出願は完了していません

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って支払手続を行ってください。



①申し込み一覧画面(※)から
検定料のお支払い をクリック



②支払方法を選択し
お支払いサイトへ をクリック



支払方法の詳細は
サイト上で確認してください
(クレジットカード
等の電子決済)

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。

Step

7

出願書類等の郵送

出願登録、入学検定料の支払後に「出願確認票」「宛名ラベル」を印刷し、その他の出願書類等と併せて出願期間内に郵送してください。



①申し込み一覧画面(*)から

出願確認票 **印刷**、宛名ラベル **印刷** をそれぞれクリック

②宛名ラベル(出願書類等提出用)を角形2号封筒に貼り付け

※一旦ログアウトしている場合は、インターネット出願登録サイトにアクセスしなおして、再度ログインしてください。



申込登録完了後に、登録内容の修正・変更をする場合は、Step7で印刷した出願確認票の「訂正あり」欄にチェックを入れた上、用紙に赤字で訂正記入してください。ただし、「入試区分」、「志望学部・学科等」、「個別試験選択科目」、「試験場選択」の変更は認められません。

<出願完了>

出願時の
注意点

出願はインターネット出願登録サイトでの登録完了後、入学検定料等を支払い、出願書類等を郵送して完了となります。登録が完了しても**出願期間内に書類が届かなければ出願を受理しません**ので注意してください。出願期間は学生募集要項をご確認ください。インターネット出願登録は出願期間の約1週間前から24時間可能です。

Step

8

受験票の印刷

受験番号確定後に、インターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」画面からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ「受験番号確定メール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。(※郵送はしません)



【印刷方法】

- ・A4サイズ
- ・両面無地の白色用紙
- ・片面印刷(白黒印刷可)
- ・下半分を切り取る



印刷した受験票は
試験当日に
必ず持参

①受験番号確定
メール受信

②申し込み一覧画面から
受験票 **印刷** をクリック

③試験当日

5. 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願登録サイトの「申し込み一覧」からダウンロードできます。出願登録サイトで登録したメールアドレスへ受験番号確定のメールを送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した**受験票は、試験当日に必ず持参**してください。

また、受験番号確定のメールに記載の URL から〈受験者心得〉にアクセスし、該当する研究科・専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

※ 受験番号確定のメールが試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに入試事務室（出願書類提出先）にお問い合わせください。

6. 選抜方法等

入学者の選抜は、外国語（英語）試験の成績（TOEFL iBT®または TOEIC®L&R のスコア）、面接の結果及び出願書類等を総合して行います。

試験日時・場所

【面接】下記の日程で、本学を会場にした対面の面接試験、もしくは Zoom によるオンライン面接を実施します。

期日	時間	試験科目等	試験場
令和7年 8月30日(土)	10:00～ ※	面接	信州大学医学部 保健学科中校舎

※ 面接開始時刻は、出願者数等により変更することがあります。集合時間等詳細は出願時に登録したメールアドレスあてに連絡します。

※ オンライン面接を選択した場合は、事前接続テスト、試験開始時間及び実施方法の詳細は出願受付後、出願時に登録したメールアドレスあてに連絡します。

7. 合格者の発表

(1) 合格者の発表

令和7年9月4日（木） 14時

●受験者は、上記の日時以降にインターネット出願登録サイトにログインし、合否を確認してください。（同サイト内の「申し込み一覧」から「合格者発表確認」をクリック）

●本学のホームページ（入試情報ポータル https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）にも合格者の受験番号一覧を掲載します。発表開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。なお、大学構内への発表掲示はありません。

また、電話やメール等での合否の問い合わせには応じられません。

(2) 合格通知と入学手続の案内

合格者には、インターネット出願登録サイト内で「合格通知書（ダウンロード）」及び「入学手続の案内」を掲載します。大学から合格通知や入学手続の案内に関する郵送等はいりません。

8. 入学手続

合格者は、入学手続期間中にインターネット出願登録サイトにログインし、「申し込み一覧」の「入学手続」から手続を行ってください。期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものとして取り扱います。

(1) 入学手続期間

令和7年9月5日（金）～9月11日（木）（締切日17時まで）

(2) 納付金

① 入学料・授業料

ア 入学料 282,000円 ※入学手続期間中に納入

イ 授業料（前期・後期）各267,900円〔年額 535,800円〕※入学後に口座振替で納入

(注1) 金額は令和7年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

(注2) 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

(注3) 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、経済支援の制度を設けています。詳細は本学の学生総合支援センターホームページを確認してください。

[\(https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentssupport/\)](https://www.shinshu-u.ac.jp/campus_life/studentssupport/)

② 学生保険料（学生教育研究災害傷害保険加入料・学研災付帯賠償責任保険加入料※）、同窓会費等 ※入学手続期間中に納入

③ その他システム利用料（入学手続時納入総額の2%の額）が必要となります。

④ 上記のほかに、入学後には教材費等が必要となります。

(3) 手続に当たっての注意事項

入学手続完了者であっても令和8年3月31日までに入学資格を満たすことができない方は入学を許可しません。

9. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、発達障害、病弱等）のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方への事前相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願を検討している段階のなるべく早い時期に、以下の連絡先へ事前相談の上、提出期限までに書類を提出してください。

事前相談のあったものについて、本学で審査の上、それぞれの障害等の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。また、必要に応じ志願者等との面談等を行うこともあります。

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に医学系研究科入試事務室へ相談してください。

(1) 提出書類

① 事前相談申込書

本学のホームページ（入試情報ポータル／受験上の配慮を必要とする方の事前相談 https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）からダウンロード

② 医師の診断書や障害者手帳の写し

(2) 提出先・連絡先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）
〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

10. 注意事項

(1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する研究分野・領域の担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 遅刻限度の方針

- ①交通機関の事故等により、各試験で定めた集合時間に間に合わない場合は、直ちに大学へ連絡してください。これによる遅刻者は、本学が定める基準により、受験を認めることがあります。なお、本学においては、追試験の設定はありません。
- ②災害等及び交通機関の事故等により、所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は、試験開始時刻の繰下げ等の措置を行うことがあります。
- ③本専攻が定める試験科目を一つでも受験していない場合には、欠席者となり、合格者とはなりません。

11. 不正行為

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできません。また、すでに受験した民間の英語能力測定試験及び面接試験の成績も無効となります。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア インターネット出願登録サイトや出願書類等へ故意に虚偽の登録・記入（本人以外の写真を使用する、民間の英語能力測定試験の成績を改ざんするなど）をすること。

イ 面接試験で虚偽の回答をすること。

ウ 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※ オンライン面接に必要な機器の使用を除きます。

※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（面接試験中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。（「9. 受験上の配慮を必要とする方の事前相談」を参照）

(2) 上記(1)以外にも次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、上記(1)と同様です。

ア 面接試験中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、使用を許可されたもの以外の用具、教科書、参考書、辞書等の書籍類等をかばん等にしまわず、身に付けたり手に持っていること。

イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

医学系研究科（修士課程）保健学専攻 入学案内

1. 標準修業年限 2年 ※

※【長期にわたる教育課程の履修】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で4年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本研究科において2年以上在学し、看護学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、検査技術科学分野については必修科目14単位、選択科目16単位以上、理学・作業療法学分野については必修科目12単位、選択科目18単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 学位授与

看護学分野では修士（看護学）、検査技術科学分野及び理学・作業療法学分野では修士（保健学）の学位が授与されます。

4. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 （前期・後期）各267,900円[年額535,800円]

金額は令和7年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。

5. 奨学金

大学院学生に対する日本学生支援機構の奨学金制度（貸与）があります。

貸与金額、申請手続き等の詳細は、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>)

医学系研究科（修士課程）保健学専攻 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u. ac. jp」を省略してあります。

[2025年4月現在]

専攻	分野	領域	担当教員 メールアドレス	内容
保健学	看護学	基礎看護学	浅野 美礼 millet@	[専門領域] 基礎看護学、看護理工学 [研究内容] ベッドサイドにおけるケア技術の改良に関する研究、情報システムに実装する看護情報のあり方に関する研究、遠隔看護に資する生理学的指標の取得に関する研究
		成人・老年看護学	會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究、2) 高齢者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究、3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究、4) 多職種連携教育の方法論と評価に関する研究
	伊澤 淳 izawa611@		[専門領域] 循環器内科学：動脈硬化、心不全、高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防（一次予防）、地域の自治体および医師会との連携による疫学研究：青少年の生活習慣病予防、歯周疾患と全身疾患の関連について	
	新井 清美 k_arai@		[専門領域] 成人看護学、アディクション [研究内容] 大学生や一般成人、アスリート等のアディクションのリスクを調査し、対象やリスクレベルに応じたアセスメントツールの開発に取り組んでいる。また、人の特性や習慣に応じた行動変容のための予防的アプローチとその評価を行っている。成人看護の対象となる人々の支援を検討するため、質的・量的研究手法を用いた研究に取り組んでいる。	
	母子看護学	金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学、地域医療、臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究、早産回避の治療に関する研究、地域における産科医療提供体制維持に関する研究、出生前診断に関する研究	
		平林 優子 ykehraba@	[専門領域] 小児看護学 [研究内容] 慢性疾患、医療的ケアが必要な子どもの療養行動発達支援、障害を持つ子ども、医療的ケアが必要な子どもの在宅ケアなど	
		中込 さと子 snakagomi@	[専門領域] 母性看護学・新生児看護学・遺伝看護学 [研究内容] 生殖補助医療、周産期遺伝医療、新生児集中ケア、社会的ハイリスク妊娠に関するケア・ソーシャルサポート・システムに関する研究。遺伝情報に基づくゲノム医療における看護など	
		中山 佳子 ynaka@	[専門領域] 小児科学、小児消化器病学 [研究内容] 小児期の消化管疾患の内視鏡検査等による診断・治療に関する研究、過敏性腸症候群の Low FODMAP diet 療法、移行医療（トランジション）支援に関する研究など	
	地域・国際・ 精神看護学	下里 誠二 sshimos@	[専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃的行動とそのケアに関する研究、精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。特に当事者との共同創造による安心安全のための包括的暴力防止プログラムに関する研究を主要なテーマとしている。	
		五十嵐 久人 higaras@	[専門領域] 地域・公衆衛生看護学 [研究内容] 生活習慣の実態把握や生活習慣改善に向けた支援に関する研究、QOLやメンタルヘルスに関する研究、保健師の実践能力向上や、やり甲斐に関する研究などを行っている。	
		太田 浩良 hohta@	[専門領域] 診断病理学（消化管病理）、組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍（胃腸型腫瘍）の組織発生と診断について、組織化学的方法論を中心に、分子生物学的な方法論等も取り入れ研究を行っている。	
		石田 文宏 fumishi@	[専門領域] 血液学、血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患、特に悪性リンパ腫を対象に、遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また、血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。	

保健学	検査技術科学	病因・病態検査学	矢崎 正英 mayazaki@	[専門領域] 神経内科学、代謝学、蛋白質化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。
			松田 和之 kmatsuda@	[専門領域] 遺伝子・染色体検査学 [研究内容] 1) 遺伝子変異・SNP を標的とした定量 PCR 法を用いて、病原体の鑑別や腫瘍細胞の量的変化のモニタリングなどの臨床応用を行っている。2) 遺伝子改変技術を用いて白血病や線維症などの難治性疾患について発症や病勢進行のメカニズムを明らかにし、病態を把握できる新規マーカーの探索を行っている。
			安尾 将法 yasumasa@	[専門領域] 呼吸器内科学、呼吸生理学、閉塞性肺疾患、呼吸器内視鏡 [研究内容] 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) やリンパ脈管筋腫症 (LAM) など、閉塞性換気障害を来す疾患の呼吸機能障害 (動的肺過膨張など) に関する研究。呼吸運動を解析する機器の開発による疾患の早期発見やモニタリングに関する研究。呼吸器疾患における運動負荷試験の効率化、新規指標の探求に関する研究などを行っている。
			山内 一由 yamauchi@	[専門領域] 臨床化学検査学 [研究内容] 動脈硬化症やアルツハイマー病の発症および病変形成におけるアポリポ蛋白 E の翻訳後修飾、特に酸化修飾の病態生理学的意義を明らかにするため、臨床化学的手法および分子生物学的手法を用いて研究を行っている。
			松本 竹久 tmatsumoto@	[専門領域] 臨床微生物検査学 [研究内容] 1) 臨床検体から分離された栄養要求性変異型細菌の原因解析とその病原性に関する研究、2) 難培養性ヘリコクターに対する検査方法に関する研究、3) 病原細菌の病原因子や薬剤耐性因子に関する研究など。
			木村 文一 kimura_f@	[専門領域] 細胞周期関連タンパク、細胞増殖因子、画像解析技術 (テクスチャ解析、機械学習) [研究内容] 悪性腫瘍や前癌病変などの病理組織・細胞診標本に対して免疫組織・細胞化学的技術によりさまざまな特異なタンパク質の発現を可視化、その発現状態を画像解析技術、統計モデル、機械学習機などの AI 技術による客観的評価や人の目では判断できない微細な形態学的変化を捉えようとする研究を行なっている。
			樋口 由美子 sasa0922@	[専門領域] 免疫検査学 [研究内容] 疾患の新規バイオマーカーの探索や、疾患発症機序を免疫学的側面から解明する研究を行い、臨床検査や治療に貢献することを目指している。1) 翻訳後修飾された Fibrinogen 蛋白の炎症における役割の解明、2) 小児好酸性胃腸炎の簡易的診断法の開発、3) 骨髄塗抹標本上でアミロイド蛋白が検出される症例の検討、など。
	理学・作業療法学	理学療法学	百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学、呼吸循環の理学療法、急性期の理学療法 [研究内容] 1) 健常者および障害者の動作解析、2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果、3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた、4) 理学療法の評価法、5) ビッグデータを用いた理学療法の検証などに関する研究を行っている。
			横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学、公衆衛生学、高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延、活動能力の保持を目的として、農村部を対象として縦断的に調査、介入を行い、その評価の研究を行っている。特に転倒予防プログラム、筋力向上トレーニング、認知機能維持向上のための二重課題運動プログラムをテーマに活動している。
			青木 薫 kin29men@	[専門領域] 整形外科学、リハビリテーション医学、骨軟部腫瘍医学、バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究、2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発、評価、3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発、生体安全性評価などについての研究を行っている。

保健学	理学・作業療法学	理学療法学	西澤 公美 hitnishi@	[専門領域] 神経筋疾患、筋疲労、小児の理学療法 [研究内容] 神経筋疾患の筋疲労や活動量に関する研究、また、ロボットスーツ HAL を使用した筋ジストロフィーの運動機能等の変化について研究を行っている。
			小宅 一彰 k_oyake@	[専門領域] 運動生理学、リハビリテーション心理学、神経疾患に対する理学療法 [研究内容] 運動耐容能の低下や起立性低血圧等、運動や姿勢変化に対する循環応答の問題に着目したリハビリテーション戦略の開発研究を行っている。また、リハビリテーションにおける動機づけについて、エビデンスの構築と社会実装を目指した研究に取り組んでいる。
	作業療法学		寺田 信生 nobot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析;解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる、細胞膜内～膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の、生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら、人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし、さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。
			小林 正義 mkobaya@	[専門領域] 精神障害作業療法学、精神障害リハビリテーション学、認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究、2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究、3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究、などを行っている。
			上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学、生活支援科学、高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。
			杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学、神経内分泌学、性差医学 [研究内容] うつ病、躁うつ病の発症メカニズムを、神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して、医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
			務臺 均 hitmutai@	[専門領域] 老年期作業療法学、身体障害作業療法学 [研究内容] 地域在住高齢者の健康増進や生活機能の改善に向けた作業療法的アプローチの効果を探求し、生活の質 (QOL) の向上を目指した支援技術の開発に取り組んでいる。また、脳卒中患者の上肢機能回復および生活機能改善に対する作業療法的介入方法を研究し、入院から訪問リハビリテーションを通じて自立支援の実践的アプローチを探求している。
			佐賀里 昭 sagaria@	[専門領域] 作業療法学、がん作業療法、自動車運転等 [研究内容] がん作業療法のエビデンス構築に向けた研究。視線計測付ドライビングシミュレータ開発研究。この他、介護保険分野の研究などを行っている。
			岩波 潤 iwanami@	[専門領域] 身体障害作業療法学、認知行動科学 [研究内容] 1) 脳卒中後の運動障害に対するリハビリテーションの効果に関する研究、2) 運動イメージに関する研究、3) 自動車運転時の危険予測に関連する認知行動評価の研究、などを行っている。

この募集要項に関する照会先

信州大学大学院医学系研究科入試事務室（医学部大学院係）

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

E-mail mdaigak@shinshu-u.ac.jp

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
 - ② 学籍管理
 - ③ 修学指導
 - ④ 学生支援関係業務
 - ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究
- なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。